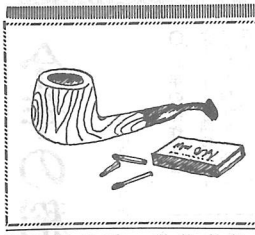
祝祭日には戸毎に
日の丸を
かかげましよう

発行所
光町役場
匝瑳郡光町宮川5,454の5
電話横芝242−243

光町かーり



たばこは
町内で
買いましよう

青年をすこやかに

千葉県青少年健全育成条例生る

青少年の健全な育成を図る目的をもって施行された「千葉県青少年健全育成条例」のしおりを町民各御家庭に配布いたしました。この条例第三条には、すべて県民は青少年の自主的な活動を助長し青少年のための健全な環境をつくりあわせて、青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為又は環境から、青少年を保護するよう努めなければならないことが県民の責務とされております。

青少年の健全育成にはいろいろの組織もできて居りますが、いかにりっぱな条例が出来、組織がありましても、一番身近に青少年をとりまく家庭の協力が学校教育と併せなくては、目的を達成することは不可能でございます。配布しましたしおりは条例を簡単に紹介したものですが、光町青少年の健全育成に共に役立つよう御協力をお願い致します。

三十九及び四十年の両年度の予算で三ケ月の工期を以て画期的な改修をすることの最終決定を見ました。

恐らく近日中に着工する運びとなりますので、さきにお知らせした中で規定された現加入者の工事費負担金は一戸当り三、〇〇〇円であり、亦新規加入される方は七、三〇〇円の新規加入金の外に改修負担金一、〇〇〇円を含めて八、三〇〇円の負担区分がありますが、その後の進展として去る二月十二日の臨時議会に「有線の改修工事について附議し、一、二五〇万円で天候の衝激などにも故障が続出して加入者の皆さんに御迷惑をおかけしている現状であります。

これ等の該当資材はこの際全部新規なものと交換しなければ到底使用に耐えない許りでなく、両許可五ケ年をとるためには、この際改修工事を断行しすべてを完備しなければならないことなります。

町は改修について今後の計画を樹て有線運営委員会や区長会の意見を聞いたり、議会の諒承を得て工事の目的、工事費と負担区分或は労力の提供等について詳しく文書（回覧）等でお知せしたとおりでありますが、その後の進展として去る二月十二日の臨時議会に「有線の改修工事について附議し、一、二五〇万円で決定を見まして、さきにお知らせした中で規定された現加入者の工事費負担金は一戸当り三、〇〇〇円であり、亦新規加入される方は七、三〇〇円の新規加入金の外に改修負担金一、〇〇〇円を含めて八、三〇〇円の負担区分がありますが、その後の進展として去る二月十二日の臨時議会に「有線の改修工事について附議し、一、二五〇万円で決定を見ました。

（新規加入金七三〇〇円の内過剰三〇〇円は受話器の差額金）

「なおこの負担金は一時に納付することが困難な方は分割の方法を講じたいと思いますがその場合は町長が特に必要と認めた方に限ります」

農村文化に重大な役割を果す有線放送事業の健やかな発展を遂げるため加入者全員の御支持と御協力を切にお願いいたします。

改修工事決定

有線許可期限きれる

広報活動と相互通信に長い間親まれてきた、有線放送業務は当町で開設して から早くも満五ケ年を経過した。

郵政法で示されている「有線放送施設」の許可は許可のあった日から満五ケ年となって居りますが、その頃になりますと耐用年数の限られて供等について詳しく文書（回覧）等でお知せしたとおりでありますが、その後の進展として去る二月十二日の臨時議会に「有線の改修工事について附議し、一、二五〇万円で決定を見まして、さきにお知らせした中で規定された現加入者の工事費負担金は一戸当り三、〇〇〇円であり、亦新規加入される方は七、三〇〇円の新規加入金の外に改修負担金一、〇〇〇円を含めて八、三〇〇円の負担区分がありますが、その後の進展として去る二月十二日の臨時議会に「有線の改修工事について附議し、一、二五〇万円で

〈議会だより〉

二月十二日午前九時から役場で臨時町議会が開かれました。議案は「光町一般職の職員と特別職の給与及び議員の報酬条例の一部改正」「国保条例の一部改正」「一般会計特別会計予算補正」「有線放送施設の改修工事契約」等十一議案がそれぞれ原案どおり可決されました。一般職、特別職の給与議員の報酬等の改訂は国家公務員に対する人事院勧告実施に伴なうそれに準じて行なわれたものです。

子どもを入園させる父兄の方へ

保育園新入園児についての注意

こどもまたかわいいお子さんたちが、いよいよ保育園に入園するときになりました。町内三保育園では、新入園児を迎えるための準備を急いでおります。

新入園児の決定は、町の社会福祉協議会役員、児童委員の方々による審査を行った上で、最終的には町長が決定いたしそれぞれの保育園に委託する方法をとっております。

各保育園では年令差に応じてそれぞれの組別によって保育するわけですが、保育方針は、厚生省児童局長通達、保育要領、幼稚園教育要綱等にもとずいて近代的な幼児保育が行われております。

入園に際しては、それぞれの保育園より直接にくわしい連絡もあろうと思いますが、入園当初は園の生活と家庭での生活に若干の差もあり環境感や肉体的なつかれも出ますので、家庭でも養護上の観察に十分注意して下さい。

ムリに登園させ早く園の生活に慣れさせようとする考え方が先に立って幼児の健康を害したりした方もありましたので、よく担任保母と密接な連絡をとりながら次速順応できるようにしたいものです。

またかわいい孫子のために一カ月近くも付添ってくる方もありますがこれでは幼児の一人立ちにブレーキをかけることにもなり逆効果が生じますので注意したいものです。

なおその他につきましては役場民生課や当該保育園に御相談下さい。（民生課係）

予防消防の重要性

過密地帯はとくに

〝投稿〟

光町消防団は昭和三十八年度より近代消防組織への新編成以来、少数精鋭主義による強力自治消防団を指してたゆまない努力を続けて来ております。団員の待遇改善、永年勤続団員退職金の支給など、当局と関係者の努力による団員に対する優遇措置が徐々に向上してきていることは、誠に喜ばしいことです。

団員はその責任を充分自覚し、機械器具の整備に努め又ポンプ操法などの基本訓練にはげんで、一旦有事の際に備へ万全を期しているのが現状であります。

然しながら高度経済成長の谷間にある町村が現金収入を補ふべく出稼ぎに出て居る状態は御承知のとおりですが、その大部分が消防団員でもあり当町とてもその例外ではありません。

常時消防団員の不足即ち有事の際一〇〇％の出動率を望むことが、経済状態の変化により不可能となりつつあると云ふことであります。

これに加うるに自動車、耕運機、暖房器具の増加に伴い可燃性物資の氾濫など、社会環境の変化がより一層火災の発生を容易ならしめています。ここに予防消防の重要性があります、広義の予防消防に対する御協力をお願いするご訳です。

各ご家庭で毎日使用する火点の数量と位置を的確に把握し簡易消火器、防火砂、毛布などの点検をするのは勿論です が最悪の場合を想定して、老人幼児に対する避難通路場所などを定めて予防消防の実をあげられることをお願い申しあげます。

以上予防消防初期防火が重要なことを申し述べ、火災シーズンに当り特に過密地帯における工場商店の予防消防に対する御理解と御協力を切に望んで止みません。

（光町消防団中央分団長）

叙位および叙勲された戦没者

昭和三十九年一月七日閣議において叙位叙勲者が発表されました。

今年の稲作はこうして

海匝支庁八日市場農業改良普及所長　川野経夫

○昨年の稲作反省

今年の稲作を期待するまえに、昨年の稲作を一応反省してみましょう。

昨年の苗代期は高温が続き苗は軟弱徒長して、苗代末期には、イモチ病が大発生し、本田に持ちこまれたイモチ病のために一部では植えかえをした農家も少なくありません。また、六月中旬からは曇天続きで、気温も低く、凶作かと心配し、八月の豪雨で倒伏した稲も続出しました。一方、穂首イモチ病の大発生は、減収に拍車をかけたことも記憶にあたらしいことです。

新聞や、ラジオ等では何年続きの豊作とさわがれたが当町では一〇アール当り四〇キロから六〇キロの減収でした。稲作収入をもって、農家経済の主体とする農家にとってこの打撃は予想以上に大きかったのであります。

○早期栽培に馴れすぎないか

水稲の早期栽培が普及してから既に、十五年になります。油紙保温折衷苗代から、現在の、ビニール苗代と著しく進歩をとげ米の収量も多収穫えと飛躍したが、収量が年毎に安定しない原因はなぜでしょうか。

苗代資材は高級になっても、完全な苗代管理に手を省いた為に、苗焼や徒長苗を起している農家が最近だけで多くなってきました。

また一方、本田の管理面では肥料は化学肥料にのみ依存し、有機質肥料である堆厩肥の施用が著しく減少しています。病虫害防除にしても、若い青年層が他産業へ出稼ぎに出ているために適期防除が実施されていません。

早期栽培ならば無条件で米が増収出来ると考える事は危険な稲作りと申さなくてはなりません。

○今年の稲作に期待するもの

1品種の選択を上手にやりましょう。

光町の水田面積は約一、〇四二ヘクタールです。このうち県の奨励品種の作付は、八六六ヘクタールで、全体の三一・三%余りです。

奨励品種以外の作付は三十種類に及んでいます。またこれらの品種は何れも極早生種か、早生種が多いので植付け時や、収穫時には労働が重なって現在のように人手不足で労賃が高騰しているときには考えなくてはならない訳です。

家族労働にあった、品種の組合せを上手に行って労働ピークを切り崩していくのも一策です。

2有力技術を進んでとりいれましょう。

米作り、いも作りも農家の企業です。なるべく生産費をかけないで安定した稲作を行う事が必要です。

近い将来には、稲作の共同化、集団栽培が実施される事と思いますが、当面の問題としては、耕地の基盤整備を実施し、機械化による作業体系を確立しなくてはなりません。水稲の直播栽培も現在は試験の段階ですが決して遠い将来ではないと思います。

最近、除草剤が著しく普及してきましたが、その普及率は全農家のうち三〇%程度です。

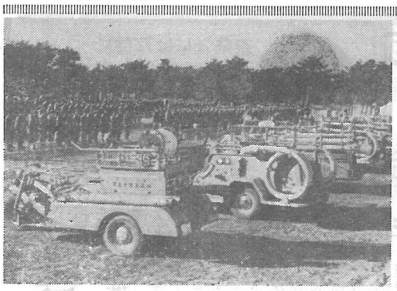
次に病害虫防除対策ですが、早期発見と共同一斉防除が最も大切である事は誰でも知っているがなかなか実施されていません。耕地の基盤整備実施地域での空中散布一斉防除には是非とも実施したいものです。昨年の苗代での葉イモチ病や、本田中期の穂首イモチ病は単なる天災とあきらめきれないものがあります。

3　産米改善に努力しましょう。

昨年の産米は、減収した上に米質が非常に低下した事は農家の皆さんが記憶していると ころです。産米検査では二等米は数えるだけしかなく、三等米も三十八年度に比較すると少なく、四等米や五等米が多かった事が特色です。

この産米等級の低下にはいろいろな阻害要因もありますが、気象条件の悪かったこと、倒伏等によっての品質低下が大きな原因といはれています。

何れにせよ、光町における農業経営の基幹作目は米です。米の豊凶が農家経済を左右する事を思えば今年こそ本腰をいれて米作りに精進いたしたいものです。



町を守る頼もしい姿……消防団

恒例の出初式挙行

昭和四十年の新春を飾る恒例の町消防団及び婦人防火隊の出初式が一月十四日午前九時より東陽小学校々庭に於いて挙行されました。

当日は、来賓として海匝支庁長を始め海匝郡市横芝町及び町内関係者多数の御臨席を仰ぎ、団員三百五十余名、婦人防火隊員百余名は、夫々規律厳正にして志気極めて旺盛な各種優れた演練と装備を堂々と披露され、我々住民の付託に副ってくれました。

尚多年に亘り消防に功績のあった方々に各種の表彰が行なわれましたが、受賞者に対し心から感謝とお祝いを申し上げます。表彰者は次のとおりであります。

○千葉県知事表彰
▽功労章　加瀬栄治・越川和一・平山廸男・鈴木健司・斉藤直
▽精勤章　内田竹雄・加瀬真一・小川守正・小林敏夫・伊藤博・橋本治一・鈴木俊雄

○千葉県消防協会長表彰
▽功労章　川野勝夫・野村昇・橋本忠志・酒巻忠・中村正夫
▽精勤章　森真一・椎名茂夫・伊橋健一

○海匝支庁長表彰
鈴木英夫・鈴木正夫・大木登・伊藤義春・鈴木竜也・深田正義

○東総地区支部協議会長表彰
関川佐四郎・高橋暉一・藤代武・鈴木光矩・実川正巳

〃　感謝状
○大木清一郎・斉藤哲郎・古橋武夫・椎名三郎・大木康二・小川一夫・布施喜美雄・鈴木貴清・実川豊康・関春雄・土屋正・林衛順・加瀬順一・石川秀吉・小川守正・小林敏雄・川喜一・加瀬真清・向後禧雄